

上越教育大学

# いじめ・生徒指導研究センター レポート

Vol.1



上越教育大学いじめ・生徒指導研究センターは、教育機関、学校及び地域社会と連携しながら、いじめや生徒指導等の学校教育の実践に関する諸課題に係る理論的・開発的研究を推進し、学校教育の改善、充実及び発展に寄与することを目的として、令和2年9月1日に設置しました。

この度、本センターの事業活動の紹介及び成果報告を各教育委員会及び小中学校等に対して、広く周知することを目的に「上越教育大学いじめ・生徒指導研究センターレポート」を定期的に発行することとしましたので、主に教育現場における研修等でご活用ください。

いじめ・生徒指導研究センター長 高橋 知己



## I 事業内容(教育現場との協働に係る主な内容等)



本センターは、現代の社会的な状況を背景にしたいじめ・生徒指導に関する理論的、実践的な研究を行うとともに、教員研修などの支援事業を実施することとしています。

### 1 いじめ・生徒指導に関する教育研究の推進

学校におけるいじめの実態把握、児童生徒に対するアセスメント等の喫緊の課題を中心に、これまでの事案や生徒指導に関する案件を整理し分析、検討しながら、いじめの早期発見や予防対策に有用な教育研究を推進します。

### 2 地域貢献の推進

教育関係者を対象にした研修会等において、講師等を派遣し、研究成果などの情報提供や研修支援を行いながら、社会的な貢献に努めます。



## II 所属教員(スタッフ)紹介



### 高橋 知己 教授

[センター長]

専門分野 特別活動・学校心理学

連絡先(E-mail) tomomi@juen.ac.jp

#### 研究の取組

日本学校心理学会、日本教育心理学会、日本生徒指導学会等に所属しながら、特に学校現場の集団と個人とのかわり方について、理論的な背景をもとにしながら学校・教室の場における実践的ないじめや生徒指導の諸問題について考えていきたいと思っています。



### 辻村 貴洋 准教授

専門分野 教育制度・地方教育行政

連絡先(E-mail) tujimura@juen.ac.jp

#### 研究の取組

教育行政学の立場から、どのようにして学習者の権利を保障するか、学習環境の整備が必要か、家庭・地域社会・NPO・フリースクール・夜間中学校など、多様なアクターも含めた公共的な空間づくりに関心があります。また、自治体の子どもの権利条例なども研究対象です。



### 蜂須賀 洋一 准教授

専門分野 生徒指導・人権教育

連絡先(E-mail) yoichi@juen.ac.jp

#### 研究の取組

法に基づいた、平和で穏やかな学校・学級づくりがテーマです。児童生徒のいじめや暴力に関する民事裁判、また、食物アレルギーや熱中症の事故、津波災害等学校事故に関する民事裁判の判決書を検討し、学校危機管理や生徒指導、安全教育等に活かす研究に取り組んでいます。



## III 所属教員(スタッフ)に係る直近の主な研究・研修実績等



### 高橋 知己 教授 [いじめ・生徒指導研究センター長]



いじめの未然防止・早期発見のために現在重点的に取り組んでいるのは、「SCTアンケート」の実施です。

従来型の「ある-ない」を選択するタイプのアンケートではなく、子どもたちの無意識の反応に迫るための「文章完成法テスト」を援用したアンケート法の分析・考察を行う

ことでいじめの未然防止につなげられないかというアプローチに取り組んでいます。

県内外の小中高の学校で取組まれているのですが、“感度”の高い情報が得られることが多く、実践現場での活用に期待が高まっています。

SCTアンケートの作成・実施手順は次のようになっています。

#### ① 刺激文を考える

「私のことをわかってくれるのは( )」「クラスみんなは( )」のように、学級の子どもの様子の中で気になること、知りたいことに焦点をあてて刺激文を作成します。学校でそろえても学年ごとでも構いません。複数回実施する際には同じ刺激文でも違う刺激文でも構いません。先生たちがみんな子どもたちの何を知りたいのかと向き合うことがいじめ予防の第一歩だと考えます。

## ② アンケート用紙を作成する

A5サイズ程度用紙に5～6問程度の刺激文を入れたアンケート用紙を用意します。

## ③ アンケートの実施

数分で終わります。実施する際の注意としては、「どう書けばいいの？」と仮に子どもたちから質問が出て「自由に書いていいよ」と答えてください。「例えば…」というように例示してしまうと子どもたちはその通りに書く傾向にあります。仮に空欄でもそれはそれで有意義です。

## ④ 分析・考察

基本的には集計して他者の反応との相対的な比較をベースにします。重要なのは、早期の教育相談につなげるためのアセスメントの一つである、という構えです。

子どもたちの声なき声を聴くこと、SOSに気づいてあげるための大人からの第一歩を踏み出すことを心掛けたいものです。

### 辻村 貴洋 准教授 [いじめ・生徒指導研究センター教員]

教育行政学の立場から、どのようにして学習者の権利を保障するか、また、学習環境の整備が必要かなどについて、家庭・地域・NPO法人・フリースクール・夜間中学校など、多様なアクターが行き交う公共的な空間づくりに関する研究を進めながら、国や自治体の政策動向や依頼者のニーズに応じて、研修における話題提供や内容構成をアレンジしています。

令和3年度には、指導主事を対象として「いじめ重大事態への対応—指導主事としての役割」と題して、いじめ等への対応に必要なアイデアとして、リスク学の知見を用いながら、組織的対応について取り上げ、最後に、指導主事という立場だからこそできる関わり方や姿勢にも付言する研修会をオンラインにて開催しました。

特に、リスク学では基本となる捉え方、すなわち、「リスクはゼロにはならない」ことを前提とすることの確認は、基本でありながらも重要なメッセージとして受講者に届いたようでした。さらに、「リスクをゼロにするのではなく、リスクから組織が被る影響を受容できる程度に最適化する」ことをリスク管理と呼び、未然防止へ向けた積極的な投資が必要との視点を提供しました。

しかしながら教育の現場とは、多様な価値観がせめぎ合う公共的な空間であるため、誰のどのような考え方や行動が原因となっている（またはなり得る）か、リスクをもたらす要因の特定が非常に困難です。また、仮に原因を特定できそうなケースにおいても、制御し得る事象を冷静に見極める姿勢が求められることには注意を要します。

関係者間における対話によって、形式的なものになりがちな組織を、実働するチームへと育て上げ、当事者の声を大切にできる環境を目指せるような支援をしていきましょう。

## 〈直近5年の主な研究業績〉

[著書：分担執筆]

- 教育行政学（第3版）：子ども・若者の未来を拓く 八千代出版 2020
- 教育と法のフロンティア 晃洋書房 2020
- 教育経営論 学文社 2017

[論文：単著]

- 「教育の公共性」を探求する地方教育行政—公共性をめぐる市民と専門職のポリティクス 日本教育行政学会年報 45号 2019
- 複線性のなかの教育行政における専門職リーダーシップの構築—教職員の教育行政参加と教育政治 日本教育行政学会年報50周年記念号 2016

### 蜂須賀 洋一 准教授 [いじめ・生徒指導研究センター教員]

## (1) いじめの問題に関する裁判事例資料を活用した研修会

いじめへの学校側の対応が不適切と訴えられた裁判の事例を研修資料化し、この資料を基に、具体的なたつまずきの原因や対応策等について議論するワークショップ型研修会を実施しています。現在、以下の6つの事例を研修資料として開発しています。

- 事例1：担任がいじめと認識せず、個別のトラブルとして対応したいじめ
- 事例2：いじめの定義に当てはまる行為が、全て不法行為に該当するののか
- 事例3：いじめられた児童への不適切な指導—教師が教育的配慮と—
- 事例4：いじめられた児童生徒が不信感を抱くような担任の対応
- 事例5：担任の統制がきかなくなった学級でのいじめ
- 事例6：SNSのトラブルから児童生徒を守る

## (2) 児童生徒の人権感覚の育成を目指す参加体験型学習に関する研修会

いじめの予防につなげるために、児童生徒の人権感覚を育成するアクティビティを体験するワークショップ型研修会を実施しています。

- 学校における人権教育の取組の実際
- 参加体験型学習のプログラムの組み立て方
- 人権感覚を高める学習内容及び方法
- アクティビティの体験及び意義や留意点等

## 〈令和3年度の研修の実績〉

- 生徒指導 いじめ事例研修会（小学校）「いじめの裁判事例にみる学校・教師の法的義務」
- 生徒指導 いじめ対策推進研修会（中学校）「いじめの裁判事例にみる学校教師の対応」
- 校長及び人権教育担当者会（高校）「ネットいじめを中心とした人権問題」

## 〈直近5年の主な研究業績〉

[著書：分担執筆]

- 東アジアにおける法規範教育の構築—市民性と人権感覚に支えられた規範意識の醸成— 風間書房 2020
- 小学校・中学校における安全教育 培風館 2020
- 公民科教育と学校教育：人権と法で深める探求のテーマ78 三恵社 2021

[論文：単著]

- 学校事故に関する判例教材を活用した生徒指導の実践的研究 生徒指導研究15 2016
- 学校事故裁判事例を活用した安全教育の実践的研究2 上越教育大学研究紀要39(1) 2019



## Ⅳ いじめ・生徒指導に関するオンライン研修講座ビデオ



本センターでは、いじめ等への予防や対策への支援の一環として、教育現場での研修会等に活用することを目的に「いじめ等に関する研修講座ビデオ」（1回：30分）をシリーズで作成しました。

利用方法は、次のYouTube、又は本学ホームページ「いじめ・生徒指導研究センター」を検索してご利用ください。

URL

[https://www.juen.ac.jp/050about/020campus/001center\\_library/700rbgc.html](https://www.juen.ac.jp/050about/020campus/001center_library/700rbgc.html)

オンライン研修講座  
ビデオ一覧

Vol.1

いじめの早期発見のために

<https://youtu.be/tWs6srFkB-w>

Vol.2

いじめアンケートを教育相談につなげる -SCTアンケートの活用-

<https://youtu.be/yzg2wEmsj8c>

⑨ 当サイト（研修講座ビデオ）の内容、テキスト、画像等の無断転載はご遠慮ください。



## Ⅴ 講師派遣依頼の申込方法



### 1 本学教員への兼業依頼

研修会等の講師の派遣依頼については、派遣を希望する所属教員（スタッフ）へ事前にメールによりお問い合わせの上、本学ホームページ「本学教職員への兼業依頼」を検索し、事務手続きをお願いします。

URL

<https://www.juen.ac.jp/050about/090side-job/about.html>

[ホーム>大学紹介>兼業依頼>本学教職員への兼業依頼]

### 2 講師派遣実施報告書の提出

研修会等が終了しましたら速やかに、本学ホームページ「いじめ・生徒指導研究センター」を検索し、「講師派遣実施報告書」をダウンロードして提出願います。

URL

[https://www.juen.ac.jp/050about/020campus/001center\\_library/700rbgc.html](https://www.juen.ac.jp/050about/020campus/001center_library/700rbgc.html)

● お問い合わせ先 ●

お問い合わせについては、本学ホームページ「いじめ・生徒指導研究センター」を検索し、「フォームで問い合わせる」より、手続きをお願いします。

URL

[https://www.juen.ac.jp/120inquiry/form\\_rbgc.html](https://www.juen.ac.jp/120inquiry/form_rbgc.html)



国立大学法人  
上越教育大学  
Joetsu University of Education

いじめ・生徒指導研究センター

〒943-8512 上越市山屋敷町1番地

上越教育大学いじめ・生徒指導研究センター（研究連携課研究連携チーム）

E-mail : j-rbgc@juen.ac.jp（メール送信時には@を半角にしてください。）

FAX : 025-521-3621

リサイクル適性<sup>®</sup>

この印刷物は、印刷用の紙へ  
リサイクルできます。

発行：令和4年3月